


# 付 録

阿蘇の歳時記	6 2 ~ 6 9
節気等に関する解説	7 0
阿蘇を知るための文献紹介	7 1
「阿蘇の草原ハンドブック」作成にあたって参考にした文献一覧	7 1
阿蘇を知るためのサイト紹介	7 1
「阿蘇の草原ハンドブック」作成にあたって参考にしたサイト一覧	7 1

# 阿蘇の歳時記

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
<p><b>農耕作業</b></p>  <p>放牧開始 ←→ 田植え ←→ 輪地切り・輪地焼き・稲刈り</p>	<p>オオルリシジミ ハルリンドウ キスミレ サクラソウ</p> 	<p>ツクシマツモト クララ ハナシノブ ユウスゲ ヒバリ オオムラサキ</p> 	<p>カワラナデシコ オミナエシ ヒゴタイ</p> 			
<p><b>主な祭事と行事</b></p> <p>&lt; 4月行事 &gt;            4日 風宮社風鎮祭(阿蘇市)            3日 荻神社中江岩戸神楽(阿蘇市)            8日 花祭り            13日 西巖殿寺観音祭(阿蘇市)</p>  <p>15日 八坂神社秋祭(南阿蘇村)            18日 馬頭観音祭</p> <p>&lt; 5月行事 &gt;            8日 乙姫子安河原観音祭(阿蘇市)            18日 秋葉祭            20日 長野岩戸神楽(南阿蘇村)</p> <p>&lt; 6月行事 &gt;            上旬 阿蘇山上神社火口鎮祭            水神さん祭り</p> <p>&lt; 7月行事 &gt;            4日 風宮社風鎮祭(阿蘇市)            15日 白川吉見神社夏祭(南阿蘇村)            22~23日 市原天満宮獅子舞(南小国町)            24~25日 宮原祇園獅子舞(小国町)            26,28日 御田祭(国造社、阿蘇社)</p>  <p>27日 群塚神社夏祭(南阿蘇村)            29日 荻の草の瓢箪つき(阿蘇市)            31日 草部吉見神社大祭(高森町)</p> <p>&lt; 8月行事 &gt;            8日 西湯浦八幡宮七夕祭(阿蘇市)            中旬 高森阿蘇神社風鎮祭(高森町)            お盆 峰の宿ばんば踊り(高森町)            8月19日~10月19日 霜宮の火焚き神事(阿蘇市)            23日 鎮火祭にわか(南阿蘇村)            24日 地蔵盆</p> <p>&lt; 9月行事 &gt;            13日 豆夕月            18日 馬場八幡宮秋祭(阿蘇市)            19日 若宮社夜渡神楽(南阿蘇村)            20~26日 頃 彼岸籠り            23日 二十三夜さん            23~26日 田の実祭(国造社、阿蘇社)            25日 中原熊野座神社の神楽(小国町)            25日 吉原大神宮岩戸神楽(南小国町)            25日 尾下菅原神社獅子舞(高森町)            30日 荻神社中江岩戸神楽(阿蘇市)</p>						

行事の日付は、2005年度のもの

10月	11月	12月	1月	2月	3月
採草		周年放牧			
				<div style="text-align: center;">野焼き</div> 	
<p>ヒゴシオン ウメバチソウ リンドウ ヤクシソウ ジョウビタキ</p>   	<p>シマカンギク</p> 	<p>スズシロソウ フキノトウ</p> 			
<p>&lt; 10月行事 &gt; 14日 八坂神社岩戸神楽(南阿蘇村) 17~18日 両神社秋祭岩戸神楽(小国町) 下旬 長野岩戸神楽(南阿蘇村)</p>  <p>菅原神社馬追い(阿蘇市)</p> <p>&lt; 11月行事 &gt; 3日 横堀岩戸神楽(阿蘇市) 21日 若宮神社秋祭(小国町) 23日 永草の牛舞(阿蘇市)</p>	<p>&lt; 12月行事 &gt; うさぎ追い、すす払い、餅つき、年の晩</p> <p>&lt; 1月行事 &gt; 元日 若水汲み 2日 頃書初め、初仕事 7日 七日正月 11日 日頃鏡開き 13日 打越神社大祭(阿蘇市) 14日 ドンドヤ、モグラ打ち 成り木責め、牛舞(阿蘇市) 15日 十五夜綱引き 阿蘇の虎舞(阿蘇市)</p>	<p>&lt; 2月行事 &gt; 8日 針供養 初午 立石稻荷神社初午祭(南阿蘇村)</p> <p>&lt; 3月行事 &gt; 初午 穴迫稻荷神社祭(高森町) 20日 火振り神事(阿蘇市)</p>  <p>20~21日 荻の草の瓢箪つき(阿蘇市)</p>			

農耕作業・伝統行事・風物詩

西巖殿寺観音祭り（阿蘇市）



毎年4月13日に開催。信者が集まり、御祈祷が行われる。  
火渡りは、修験道に伝わる儀式で、薪で護摩を焚き、熾火の上を素足で渡る修行。

田植え



5月中旬、阿蘇谷や南郷谷では田植えが行われ、カルデラに一面緑の絨毯が広がる。かつては手植えによる作業で重労働だったが、最近では機械が用いられる。

仙酔峡つつじ祭り（阿蘇市）



仙酔峡では、5月になると、自生している約5万本のミヤマキリシマが一斉に花を咲かせる。その美しさから「花に仙人が酔うほど美しい峡谷」という意味の名が付けられたという。この期間に合わせて（4月末から5月末まで）、つつじ祭りが開かれ、様々なイベントが催される。毎年たくさんの観光客で賑わう。

仙酔峡の他、阿蘇山上や杵島岳山頂でも、ミヤマキリシマを観察できる。

御田祭りとうなり（阿蘇市 国造神社と阿蘇神社）



7月下旬に行われる。

「おんださん」「御田植祭り」とも呼ばれるこの祭りは、その年の豊作を祈願するもので、国造神社と阿蘇神社で行われている。

写真は、うなり行列。白装束姿の女性たちは、頭に神様たちの食事を載せて運ぶ役目をしている。

輪地切り・輪地焼き



春に行う野焼きのための準備作業。8月下旬の暑い盛りに行われる。

このときつくられる防火帯の総延長は阿蘇市郡内で610kmともいわれる。



人手不足を補うため、牛を使った「モーモー輪地切り」の試みや、ボランティアによる作業活動が行われている。

稲刈り

9月になると、カルデラの底は一面黄金色になる。下旬頃から刈り取りが始まる。最近では、稲刈りから脱穀まで機械を使って作業を行うことが多い。



農耕作業・伝統行事・風物詩

霜宮火焚き神事（阿蘇市役大原<sup>やくいんぼる</sup>）



阿蘇市霜宮神社で、8月19日から10月16日まで、火焚き乙女が火を焚き続ける火焚き神事が行われる。  
 健甕龍命<sup>たけいわたつのみこと</sup>の射った矢を足の指にはさんで返したことで首をはねられた鬼八<sup>きはち</sup>（鬼八伝説）天に上った鬼八の首と魂は、怨霊となって、毎年9月ごろになると霜を降らせて実り始めた農作物に大きな被害を与えた。これを静めるために霜神社に鬼八の霊を祀り、火を焚いて暖めて霜の害を防ごうとしたのが始まりと言われる。

長野阿蘇神社の大祭・岩戸神楽（南阿蘇村長野）



長野阿蘇神社では、春（5月下旬）と秋（10月下旬）に大祭が開催される。  
 岩戸神楽は、国選択の無形文化財に指定されているもので、古い形をそのまま伝えているといわれる。鬼の面をつけた神官が竹ざおに登りながら舞いを披露する、珍しい「竹登り」が見られる。  
 毎月第一日曜日に定期公演も行われている。

とうもろこし掛け



秋に収穫し、冬の牛馬の餌として、保存する。  
 軒先につるされたとうもろこしの幕や庭先に立てられたとうもろこしの塔は、阿蘇の秋から冬にかけての風物詩だが、最近は牛馬を飼う農家が減り、あまり見かけなくなっている。

切り干し大根干し



秋から初冬にかけて、家の軒先にみかけられる。  
 大根に切り込みを入れ、短冊状に長くつなげたもので、1本の大根が1メートル前後にもなる。日に当たる面積を少しでも広くし、手早く乾燥させるための生活の知恵だそう。

雪原の草小積み



刈った草を小高く積み上げた「草小積み」。秋に刈って束ねた干し草を小高く積み上げたもので、冬場の牛の餌などに利用される。  
 冬枯れの草原に雪が降ると、点々と残る草小積みにも雪化粧が施される。  
 うさぎが寒さしのぎにもぐっていることもあるという。

農耕作業・伝統行事・風物詩

うさぎ追い



学校行事として行われていたもので、草原に出てみなでうさぎを追う。

現在は、小国町や産山村などでイベントとして行われ、家族連れでにぎわう。

周年放牧



冬の間も放牧させる飼育形態。草地の改良が進んだことなどから可能となり、一部の地域で10年ほど前から実施されている。

当初は、「牛がかわいそう」という抵抗もあったが、牛は雪の積もる草原で元気に過ごし、ストレスがたまることもないそうだ。

火振り神事・卯の祭り（阿蘇市 阿蘇神社）



毎年3月、田作り祭り中に行われる。

農業守護神だけいわたつのみこと健磐龍命とその妃となる阿蘇都媛命あそつひめのみことの神婚式を祝う神事。氏子が火振りをし、妃となる姫神を迎える。茅の束でつくったたいまつを振り回してできる火の輪の中を、姫神の行列が忍ぶように拝殿へ進む様子はとても幻想的である。

…写真は昼間に行われる「卯の祭り」。姫神が、神職と随行の青年を従えて婿神の待つ阿蘇神社へ向かうところ。

動植物・自然

キスミレ



野焼きのあとの黒い山肌に、黄色の絨毯を敷くように咲いて春の訪れを告げる。

この時季、阿蘇の至るところで見ることができる。

スミレ科、多年草、大陸系遺存植物  
開花期：4月上旬～5月上旬

ハルリンドウ



星の形をした花が、春の野原一面に咲き乱れる。コバルト色と白色がある。

リンドウ科、二年草、大陸系遺存植物  
開花期：4月上旬～5月上旬

動植物・自然

<p>サクラソウ</p>  <p>早春、草原の湿地に可憐なピンクの花を咲かせる。</p> <p>サクラソウ科、多年草、 北方系植物 開花期：4月中旬～5月中旬</p>	<p>オオルリシジミ</p>  <p>草原に住むチョウの代表選手。幼虫は、クララという植物のみを食べる。5月上旬には成虫がひらひらと草原を舞う。</p> <p>環境省レッドデータブック「絶滅危惧Ⅰ類」登録。</p>
<p>ツクシマツモト</p>  <p>5センチほどの燃えるような朱色の花が印象的。江戸時代から栽培されていたといわれる。阿蘇だけに生えている希少な植物。</p> <p>ナデシコ科、多年草、 大陸系遺存植物 開花期：6月中旬～7月上旬</p>	<p>ハナシノブ</p>  <p>青紫色の可憐な花が集まって咲く。草原など日の当たる場所を好む。阿蘇だけに生えている希少な植物。</p> <p>ハナシノブ科、多年草、大陸系遺存植物 開花期：6月中旬～7月上旬</p>
<p>クララ</p>  <p>薄黄色のチョウのような形の花をつける。牛や馬が食べないので、放牧地で多くみられる。阿蘇を代表する美しいチョウ、オオルリシジミの食草として知られる。</p> <p>マメ科、多年草 開花期：6月中旬～7月中旬</p>	<p>ヒバリ</p>  <p>初夏の空に高く舞い上がってピーチュクリーチュルと鳴く。草原でよくみかけられる。熊本県の県鳥に指定されている。</p> <p>スズメ目ヒバリ科 留鳥</p>
<p>ユウスゲ(キスゲ)</p>  <p>夕方から早朝にかけて開花する。ススキの茂る草原に大きな黄色の花を咲かせる。</p> <p>ユリ科、多年草 開花期：6月中旬～8月中旬</p>	<p>オオムラサキ</p>  <p>日本の国蝶で、切手の図案にもなっている。高い木のまわりを飛ばため、みつけにくい。北海道南部から九州まで広く分布するが、産地は限られている。</p>

動植物・自然

<p>カワラナデシコ</p>  <p>可憐な花は、古くからご先祖様に供える花として阿蘇で親しまれてきた。秋の七草の一つ。</p> <p>ナデシコ科、多年草 開花期：7月中旬～9月下旬</p>	<p>オミナエシ</p>  <p>日当たりのよいスキの草原に生える。秋の七草のひとつ。</p> <p>オミナエシ科、多年草 開花期：7月中旬～9月中旬</p>
<p>クサレダマ</p>  <p>黄色の花がツリー上に咲く。マメ科の樹木レダマに花が似ていることから、草レダマということで名付けられた。「腐れ玉」ではない。</p> <p>サクラソウ科、多年草 北方系植物 開花期：7月下旬～9月下旬</p>	<p>ヒゴタイ</p>  <p>日当たりの良い草原に生え、直径3～4センチほどのルリ色のボール型の花をつける。産山村の村花。</p> <p>キク科、多年草 大陸系遺存植物 開花期：8月中旬～9月下旬</p>
<p>ヒゴシオン</p>  <p>名前は、「肥後」の「紫苑」の意。淡い紫色の繊細な花を咲かせる。阿蘇くじゅうの湿地に生育する。</p> <p>キク科、多年草 開花期：8月下旬～10月中旬</p>	<p>雲海</p>  <p>雲海は、阿蘇では年間を通じて発生するが、秋に見られる綿状の雲海が特に壮観。初秋のおだやかな早朝、外輪山上から阿蘇谷一面に広がる雲のじゅうたんのような雲海を見ることができる。</p>
<p>リンドウ</p>  <p>秋、花の少なくなった草原に鐘状の青紫色の花を咲かせる。昭和28年に熊本県の県花に指定されている。</p> <p>リンドウ科、多年草 開花期：9月下旬～11月上旬</p>	<p>ジョウビタキ</p>  <p>秋が深まる頃、よく見られる。黒い羽根に白い紋があることから「モンツキ鳥」と呼ばれる。</p> <p>スズメ目ツグミ科、冬鳥</p>



動植物・自然

<p>ウメパチソウ</p>  <p>日当たりのよい草原に生え、ウメに似た白い花をつける。阿蘇の秋の終わりを告げる。</p> <p>ユキノシタ科、多年草 開花期：9月～11月</p>	<p>シマカンギク</p>  <p>寒い季節に黄金色の小輪の花をいっぱいつけ、垂れ下げて咲く。阿蘇山周辺によく見られる。</p> <p>キク科、多年草 開花期：10月～12月</p>
<p>こが 古閑の滝（阿蘇市一の宮町）</p> 	<p>一の宮町南西の外輪山斜面にある。1～3月上旬ごろまで、北風に吹かれて滝が凍りつくことで有名。</p> <p>男滝（80m）、女滝（100m）の二つの滝に分かれている。厳冬期には滝から民家まで厚い氷がはりつめる。</p> <p>凍りついた滝は白く美しい。ふもとから凍りついた様子がながめられ、阿蘇の冬の代表的風景である。滝の水が解けて落ちる音は、遠くまで響き、春を告げる音と親しまれている。</p>
<p>スズシロソウ</p>  <p>2月頃から白い花が咲く。草原の斜面やがけに群落をつくる。</p> <p>アブラナ科、多年草 開花期：2～4月</p>	<p>アズマイチゲ</p>  <p>早春に葉を地上に出す。熊本県は分布の南限で、県内の生育地は阿蘇地方と矢部地方の数箇所のみ。</p> <p>キンポウゲ科、多年草 開花期：2月～4月</p>
<p>芽吹き</p> 	<p>野焼きの後、草原は一面が真っ黒な焼け跡となる。黒々とした山肌は他ではあまり見られない偉容を誇っているが、その姿でいるのはほんのひと月ほど。やがて、芽吹きの季節が訪れ、黒一色だった斜面は、緑のピロードのような新緑に覆われる。</p> <p>さらに、草原の花々が開花し、はなやかな色彩を加え、阿蘇に春の訪れを告げるのである。</p>

カレンダー日付欄：節気等に関する解説

**二十四節気(にじゅうしせつき)・・・**1年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けたもので、「節または節気」と「気(中または中気とも呼ばれる)」が交互にある。太陰暦(旧暦)の閏月を設ける基準となっており、中気のない月を閏月としていた。二十四節気は、その年によって1日程度前後することがある。

**八節(はっせつ)・・・**季節の八つの変わり目。立春・春分・立夏・夏至・立秋・秋分・立冬・冬至。二十四節気のうちの八つ。二十四節気成立に先立って考えられたといわれる。

- 小寒(しょうかん)：この日は寒の入り、これから節分までの期間が「寒」である(2006/1/5)
- 大寒(だいかん)：一年で一番寒さの厳しい頃(2006/1/20)
- 立春(りっしゅん)：春の気が立つ頃、この日から立夏の前日までが春(2006/2/4)
- 雨水(うすい)：空から降るものが雪から雨に替わる頃(2006/2/19)
- 啓蟄(けいちつ)：冬眠をしていた虫が穴から出てくる頃(2006/3/6)
- 春分(しゅんぶん)：春の彼岸の中日、昼と夜の時間がほぼ等しくなる日(2006/2/21)
- 清明(せいめい)：春の清らかな気が満ち、草木が萌えでる頃(2005/4/5)
- 穀雨(こくう)：百穀を潤す春雨がふる頃(2005/4/20)
- 立夏(りっか)：夏の気が立つ頃、この日から立秋の前日までが夏(2005/5/5)
- 小満(しょうまん)：陽気がよくなり、草木などの生物が次第に生長して生い茂る頃(2005/5/21)
- 芒種(ぼうしゅ)：稲の穂先のように芒(とげのようなもの)のある穀物の種をまく頃(2005/6/5)
- 夏至(げし)：昼が最も長く、反対に夜が最も短くなる日(2005/6/21)
- 小暑(しょうしょ)：梅雨明けが近く、本格的な暑さが始まる頃(2005/7/7)
- 大暑(たいしょ)：ますます暑く、1年中で最も気温の高い酷暑のころ(2005/7/23)
- 立秋(りっしゅう)：初めて秋の気が立つ頃、この日から立冬の前日までが秋(2005/8/7)
- 処暑(しょしょ)：暑さが止む頃、台風シーズンでもある(2005/8/23)
- 白露(はくろ)：野には薄の穂が顔を出し、秋の趣がひとしお感じられる頃(2005/9/7)
- 秋分(しゅうぶん)：秋の彼岸の中日、昼と夜の時間がほぼ等しくなる日(2005/9/23)
- 寒露(かんろ)：野草の冷たい露が秋の深まりを感じさせる頃(2005/10/8)
- 霜降(そうこう)：北国や山間部では、霜が降りて朝には草木が白く化粧をする頃(2005/10/23)
- 立冬(りっとう)：初めて冬の気が立つ頃、この日から立春の前日までが冬(2005/11/7)
- 小雪(しょうせつ)：陽射しは弱まり、冷え込みが厳しくなる頃(2005/11/22)
- 大雪(たいせつ)：山の峰が積雪に覆われているころ(2005/12/7)
- 冬至(とうじ)：夜が一番長くなる日、冬至南瓜や柚湯の慣習が残る日(2005/12/22)

**雑節(ざっせつ)・・・**二十四節気以外の季節の移り変わりの目安となる日の総称。

- 社日(しゃにち)：春分、秋分に最も近い戌(つちのえ)の日で、1年に2回ある。春には豊年を祈り、秋には成熟を祝う行事をそれぞれ行う。
- 節分(せつぶん)：もとは四季にあったが、のち春だけについていわれるようになった。立春の前日のことで、邪気を払う行事がなされる。
- 彼岸(ひがん)：春分と秋分の前後の3日ずつの計7日のこと。初日を彼岸の入り、当日を中日(ちゅうにち)、終日を明けと呼ぶ。
- 土用(どよう)：立春、立夏、立秋、立冬の前18日間。この期間は、土公神(どくじん)が支配するといわれ、土を動かすことは忌むべきこととされた。
- 八十八夜(はちじゅうはちや)：立春から数えて88日目をいい、種まきの目安の日。
- 入梅(にゅうばい)：二十四節気のうち、芒種の後の壬(みずのえ)の日。梅雨はそれから31日間とされる。
- 半夏生(はんげしょう)：天より毒気を下す日という。夏至より10日後とされる。
- 二百十日(にひゃくとおか)：立春から数えて210日目の日。必ず暴風雨があるとされる。
- 二百二十日(にひゃくはつか)：立春から数えて220日目の日。二百十日と同じ意味を持つ。

参考：三省堂「大辞林 第二版」、国立国会図書館HP「日本の暦」 [http://www.ndl.go.jp/koyomi/kotoba/02\\_sekki.html](http://www.ndl.go.jp/koyomi/kotoba/02_sekki.html)、  
こよみのページHP <http://koyomi.vis.ne.jp/directjp.cgi?http://koyomi.vis.ne.jp/24doc.htm>

阿蘇を知るための文献 阿蘇草原再生サイト・文献一覧参照 <http://www.aso-sougen.com/data/index.html>

「阿蘇の草原ハンドブック」作成にあたって参考にした文献一覧

タイトル	発行者・著者など	発行年	備考
阿蘇の野の花	佐藤武之・著、西日本新聞社発行		発行は : S53.8 : S63.10 : H3.10
新・阿蘇学	熊本日日新聞社発行	S62.11	
阿蘇の文学	阿蘇の司ピラパークホテル発行	H 1. 7	
阿蘇の自然ガイド	阿蘇くじゅう国立公園管理事務所発行	H 4. 6	自然観察ハイキング資料
新・美しい自然公園 1 1	(財)自然公園財団発行	H 5	
阿蘇の神話と伝説 阿蘇ん話・	高橋佳也・編著 一の宮町教育委員会発行	H 5. 3	
白水の水源めぐり	田中伸廣・著	H 5. 9	自然観察ハイキング資料
阿蘇 - 自然と人の営み -	熊本大学(放送公開講座)発行	H 6. 8	所収: 「草原利用と人々の営み」(大滝典雄・著)、「阿蘇の動物」(西岡鐵夫・荒井秋晴・著)、「阿蘇の植物」(内野明德・著)
阿蘇の火山	池辺伸一郎・著	H 7. 2	阿蘇地区パークボランティア研修会資料
草原のなりたちと植物	瀬井純雄・著	H 7. 6	阿蘇自然観察講座資料
参勤交代の阿蘇路(滝室坂)を歩く	環境庁九州地区国立公園野生生物事務所発行	H 7.10	阿蘇自然観察講座資料
原野の子ら	広瀬恵利子・文、汐文社発行	H 9. 4	
一の宮町史/草原と人々の営み	大滝典雄・著、一の宮町発行	H 9.12	
くまもとの希少な野生動植物 RED DATA BOOK(普及版)	熊本県環境生活部自然保護課発行	H11. 3	
自然解説マニュアル	阿蘇くじゅう国立公園阿蘇地区パークボランティアの会発行	H12. 3	
一の宮町史/自然と生き物の賛歌	今江正知・著、一の宮町発行	H13.10	
熊本記念植物採集会誌 BOTANY no.51別刷「盆花の流通について」	大滝典雄・著	H13.12	
内牧花原川を守る会会報	内牧花原川を守る会発行	H14. 7	所収: 「阿蘇の『万里の長城』」(大滝典雄)
ジパング倶楽部2003年10月号	交通新聞社発行	H15. 9	
阿蘇野草園ガイドブック	南阿蘇ビジターセンター運営協議会発行		
もっこす語典	山口白陽・編、郷土雑誌呼ぶの会発行		
平成10年度 参加型国立公園環境 保全活動推進事業報告書	環境省自然環境局 (財)阿蘇地域振興デザインセンター	H11. 3	
平成12年度 国立公園内草原景観 維持モデル事業報告書	環境省自然環境局 (財)自然環境研究センター	H13. 3	
平成13年度 国立公園内草原景観 維持モデル事業報告書	環境省自然環境局 (財)自然環境研究センター	H14. 3	

阿蘇を知るためのサイト 阿蘇草原再生サイト・リンク集参照 <http://www.aso-sougen.com/link/index.html>

「阿蘇の草原ハンドブック」作成にあたって参考にしたサイト一覧(平成17年3月1日現在)

タイトル	管理者など	アドレス
阿蘇火山博物館	阿蘇火山博物館	<a href="http://www.asomuse.jp/volcano/index.html">http://www.asomuse.jp/volcano/index.html</a>
阿蘇グリーンストック	(財)阿蘇グリーンストック	<a href="http://www.aso.ne.jp/~green-s/">http://www.aso.ne.jp/~green-s/</a>
阿蘇どまんなか局	阿蘇どまんなか局	<a href="http://www.aso-domannaka.com/">http://www.aso-domannaka.com/</a>
阿蘇の司ピラパークホテル	阿蘇の司ピラパークホテル	<a href="http://www.dandl.co.jp/aso_villa/">http://www.dandl.co.jp/aso_villa/</a>
阿蘇風景写真館	三浦ふみたか	<a href="http://www.asophoto.com/index.htm">http://www.asophoto.com/index.htm</a>
日本草地畜産種子協会	(社)日本草地畜産種子協会	<a href="http://souchi.lin.go.jp/index.html">http://souchi.lin.go.jp/index.html</a>
日本リモナイト	(株)日本リモナイト	<a href="http://www.limonic.co.jp/">http://www.limonic.co.jp/</a>
ふれあい牧場	(社)日本草地畜産種子協会	<a href="http://www.fureaibokujuyo.jp/land/index.html">http://www.fureaibokujuyo.jp/land/index.html</a>
らくのうマザーズ	熊本県酪農業協同組合連合会	<a href="http://www.mothers.or.jp/index-j.html">http://www.mothers.or.jp/index-j.html</a>
阿蘇市	阿蘇市	<a href="http://www.city.aso.kumamoto.jp/">http://www.city.aso.kumamoto.jp/</a>
南小国町	南小国町	<a href="http://www.town.minamioguni.kumamoto.jp/mognhtml/index.shtml">http://www.town.minamioguni.kumamoto.jp/mognhtml/index.shtml</a>
小国町	小国町	<a href="http://www.town.oguni.kumamoto.jp/ognhtml/index.shtml">http://www.town.oguni.kumamoto.jp/ognhtml/index.shtml</a>
産山町	産山町	<a href="http://www.aso.ne.jp/~ubuyama/">http://www.aso.ne.jp/~ubuyama/</a>
高森町	高森町	<a href="http://www7.ocn.ne.jp/~takamori/">http://www7.ocn.ne.jp/~takamori/</a>
南阿蘇村	南阿蘇村	<a href="http://www.minamiaso-v.kumamoto-gn.jp/web/index.shtml">http://www.minamiaso-v.kumamoto-gn.jp/web/index.shtml</a>
西原村	西原村	<a href="http://www.vill.nishihara.kumamoto.jp/">http://www.vill.nishihara.kumamoto.jp/</a>
熊本県	熊本県	<a href="http://www.pref.kumamoto.jp/">http://www.pref.kumamoto.jp/</a>
熊本県阿蘇地域振興局	熊本県	<a href="http://www.pref.kumamoto.jp/shinkoukyoku/asoshinkou%5Fhp/">http://www.pref.kumamoto.jp/shinkoukyoku/asoshinkou%5Fhp/</a>
阿蘇くじゅう国立公園	環境省自然環境局 九州地区自然保護事務所	<a href="http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/cgi-bin/page_np.cgi?park=asokuju">http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/cgi-bin/page_np.cgi?park=asokuju</a>
阿蘇草原再生	"	<a href="http://www.aso-sougen.com/index.html">http://www.aso-sougen.com/index.html</a>
RDB図鑑	環境省インターネット自然研究所	<a href="http://www.sizenken.biodic.go.jp/rdb/">http://www.sizenken.biodic.go.jp/rdb/</a>
生物多様性情報システム	環境省自然環境局生物多様性センター	<a href="http://www.biodic.go.jp/J-IBIS.html">http://www.biodic.go.jp/J-IBIS.html</a>
名水百選	環境省環境管理局水環境部企画課	<a href="http://www.env.go.jp/water/meisui/index.html">http://www.env.go.jp/water/meisui/index.html</a>
立野ダム工事事務所	国土交通省九州地方整備局 立野ダム工事事務所	<a href="http://www.qsr.mlit.go.jp/tateno/">http://www.qsr.mlit.go.jp/tateno/</a>

このハンドブック及び別冊の「草原カレンダー（2005年度版）」作成にあたり、下記の方々にご協力いただきました。

企画協力（50音順・敬称略）

<草原をテーマにした環境教育教材づくり作業部会>

梶原宏之 阿蘇たにびと博物館館長  
後藤秀徳 休暇村南阿蘇施設課長  
島田美里 元野外教育研究所IOE職員  
田上義明 南阿蘇村教育委員会  
春木 恵 高森町立高森中学校教諭

監修協力（50音順・敬称略）

池辺伸一郎 阿蘇火山博物館館長  
大滝典雄 阿蘇地区国立公園パークボランティアの会顧問  
瀬井純雄 南阿蘇村中松小学校教頭  
高橋佳也 阿蘇自然案内人協会会長  
湯浅陸雄 阿蘇町ホテルの会会長

資料・写真協力（50音順・敬称略）

大滝典雄 / 梶原宏之 / 後藤秀徳 / 高橋佳也 / 田上義明 / 湯浅陸雄 /  
財団法人阿蘇グリーンストック / 財団法人阿蘇地域振興デザインセ  
ンター / 島根県立三瓶自然館 / 熊本日日新聞社

編集協力

株式会社メッツ研究所

株式会社アートポスト（カレンダー編集デザイン）

タコリトモコ（カレンダーイラスト）

ついつい子供に伝えたくなる

## 阿蘇の草原ハンドブック

---

2005年3月 発行

編集・発行 環境省自然環境局九州地区自然保護事務所  
〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1180  
TEL: 0967-34-0254

---